

益社団法人中部日本書道会
一宮支部報



機に臨み変に応ず

支部長 川浦碧濤

強いられていくことと存じます。

さて、昨年度支部事業で

あります去年十月十日に開催実施の学生書道展審査会、

十月三十日に開催実施の講師小坂克子先生をお招きし

て講習会(例年は研修旅行)

「拓本」について又、支部最大事業である十一月二十

日頃は支部事業に関し、

何かとご支援ご協力を賜り、

この紙面をお借り致しまし

て、衷心より御礼と感謝を

申し上げます。

若夏のみぎり、支部会員

皆様方に於かれましては、

益々ご健勝のことと拝察申

し上げます。

申しあげます。

書道愛好家」という共通

した一宮支部というチーム

のメンバーである皆様に於

かれては、何より健康第一

にして『書』を通じて目指す

もの?とは?また、各位

が守備範囲を全うして行か

れます事、切望いたします。

最後に浅学菲才の小生が、

三期六年目の支部長として

重責を全うさせていただき

ました事、唯々『感謝』に

他なりません。

然し乍ら、二月二十七日開催予定であり本来ならば、

企画委員長松下英風先生、企画委員長の大池青

岑先生を本部よりお招きし

たが、新型コロナウイルス感染症の市中感染拡大に

伴い、急遽、止むを得ず中止と致しました。支部員の

の支部員の方々には、書面による決議に変更させて頂

いたしました。書類を送付し、書面に

て「賛成・反対」のご意思を表明して頂きました。書

面による出席者と委任状に

の目を釘付けにしていました。

二×三メートル四方にも及ぶ大作が披露され、参加者の目を釘付けにしていました。

つづいて、講師の実演の後、参加者の実習へと進められ、参加者はそれぞれ持ち寄った器物に真剣そのもの「うまく採れた!」とか、「ちょっと失敗かな?」とか、楽しいひとときを過ごさせて頂きました。

ところでの今年度支部学長引くコロナ禍の為、昨年

に続き、本年も中止せざるを得ないこととなり、それ

に変わることとして、『拓本』身近なもので拓を探つ

てみよう」と題する講習会を開催することとなりました。

毎年恒例の研修旅行が、

益社団法人中部日本書道会

一宮支部報

の理解とご協力を頂き成

し遂げる事が出来ました。

益社団法人中部日本書道会

一宮支部報

の理解とご協力を頂きました。

益社団法人中部日本書道会

一宮支部報



一宮七夕まつり第48回学生書道展が七月十日・十一日の両日に一宮スポーツ文化センターにて開催されました。昨年は新型コロナ感染防止の為やむなく中止となりました。一年経過してもまだまだコロナ感染は終息出来ずにおいてますが、予防策を徹底いたしまして何とか開催できました。役員一同試案いたしました。密を避ける為うちわ書きのイベントは中止となり、作品展示数も削減いたしました。しかし、このコロナ禍で皆々様のご協力をいただき無事に開催出来ました

（7月19日～29日）
新規コロナの書道界への打撃は大きいのですが、これをバネにして大きな一步を踏み出せる力を育てたいと思います。

総出品点数

特別出品

知事賞・奨励賞

七夕賞

特選金賞

二、九七八点
二五点
八八一点
二三五点
一、一八六点
六五一点

▼会期 令和三年七月十日(土)～十一日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター

一宮書道連盟会長 村上史麗

第48回学生書道展

◆一宮七夕まつり
学生書道展の本町通り展示
第48回おりもの感謝祭一宮七夕まつり学生書道展に展示した入賞までの上位900点余りを、一宮七夕まつりを盛り上げるために一宮本町通り商店街アーケード内に展示しました。

期間 令和三年七月十九日(日)～二十九日(木)
一宮七夕まつり商店街アーケード内に展示しました。

おりもの感謝祭一宮七夕まつりに協賛し、第二十七回選抜作品展が開催されました。当連盟を代表する役員の先生及び、併催の「七夕学生書道展」にご出品の先生方を選抜させていただきました。楽しくユニークな小作品の展覧会でした。

（出品者）

亀山雪峰	武山翠屋
木戸竹葉	林大樹
則武穹	岩田潤流
伊藤玄圃	鷺野紫篁

村田光絆	牧仙岳	川浦碧濤	勝海芝香	猪又松峰	中田杏華	近藤芳玉	田代春苑	安藤蘇道	伊藤暁嶺	浅野搖草	犬飼游華	岩田展穂	小川香風	河村抱山	可児長望	笠麗佳	荒川白扇	大西影慕	尾中杉得	
小島瑞月	高松秀翠	山口如泉	太田紫翠	中山芳泉	高島紅雪	渡邊水香	吉田桃花	村上史麗	小島雪舟	渡辺月潭	勝海芝香	森隆城	山田杏華	猪又松峰	中田曾南	近藤芳玉	高木曾水	福田栄樂	岩崎翠風	山本瑠華
太田桂嶺	加地孤握	市川嶺華	中村華風	西澤晴香	佐藤紅蘭	酒井光華	後藤蘇月	河本抱山	國島英華	川本青絆	河村抱山	後藤柳月	川出暁香	川出暁香	後藤蘇月	後藤蘇月	酒井淑婉	吉田美影	山田紅照	森翠葉
橋本成良	中村美舟	丹羽碧洋	中村美舟	西村松花	内藤春翠	酒井光華	河本抱山	可児長望	川出暁香	川出暁香	河本抱山	後藤柳月	渡辺湖風	渡辺湖風	渡辺湖風	渡辺湖風	酒井淑婉	吉田美影	山田紅照	森翠葉

第27回選抜作品展

◆一宮七夕まつり
学生書道展の本町通り展示
第48回おりもの感謝祭一宮七夕まつり学生書道展に展示した入賞までの上位900点余りを、一宮七夕まつりを盛り上げるために一宮本町通り商店街アーケード内に展示しました。

おりもの感謝祭一宮七夕まつりに協賛し、第二十七回選抜作品展が開催されました。当連盟を代表する役員の先生及び、併催の「七夕学生書道展」にご出品の先生方を選抜させていただきました。楽しくユニークな小作品の展覧会でした。

（出品者）

亀山雪峰	武山翠屋
木戸竹葉	林大樹
則武穹	岩田潤流
伊藤玄圃	鷺野紫篁

村田光絆	牧仙岳	川浦碧濤	勝海芝香	猪又松峰	中田杏華	近藤芳玉	田代春苑	安藤蘇道	伊藤暁嶺	浅野搖草	犬飼游華	岩田展穂	小川香風	河村抱山	可児長望	笠麗佳	荒川白扇	大西影慕	尾中杉得	
小島瑞月	高松秀翠	山口如泉	太田紫翠	中山芳泉	高島紅雪	渡邊水香	吉田桃花	村上史麗	小島雪舟	渡辺月潭	勝海芝香	森隆城	山田杏華	猪又松峰	中田曾南	近藤芳玉	高木曾水	福田栄樂	岩崎翠風	山本瑠華
太田桂嶺	加地孤握	市川嶺華	中村華風	西澤晴香	佐藤紅蘭	酒井光華	後藤蘇月	河本抱山	國島英華	川本青絆	河村抱山	後藤柳月	川出暁香	川出暁香	後藤蘇月	後藤蘇月	酒井淑婉	吉田美影	山田紅照	森翠葉
橋本成良	中村美舟	丹羽碧洋	中村美舟	西村松花	内藤春翠	酒井光華	河本抱山	可児長望	川出暁香	川出暁香	河本抱山	後藤柳月	渡辺湖風	渡辺湖風	渡辺湖風	渡辺湖風	酒井淑婉	吉田美影	山田紅照	森翠葉

伊藤美泉	倉橋高堂	田中石雲	栗本珠路	藤田寒樹	松田樹幹	浅野搖草	岩崎翠風	山崎白扇	大西影慕	尾中杉得	吉田美影	山田瑠華	山本瑠華	山田紅照	森翠葉	山田華苑	山田華苑	山田華苑	山田華苑	山田華苑
倉橋華仙	戸松紅翠	大西影慕	尾中杉得	吉田美影	山田瑠華	浅野搖草	岩崎翠風	荒川白扇	尾中杉得	吉田美影	山田瑠華									
栗本珠路	戸松紅翠	尾中杉得	吉田美影	山田瑠華	山田瑠華	岩崎翠風	山崎白扇	大西影慕	吉田美影	山田瑠華										
藤野春竹	牧野瑞葉	横井静嘉	渡辺湖風	吉田美影	山田瑠華	浅野搖草	岩崎翠風	荒川白扇	尾中杉得	吉田美影	山田瑠華									
原香風	宮代翠霄	森雪華	渡辺湖風	山田瑠華	山田瑠華	岩崎翠風	山崎白扇	大西影慕	吉田美影	山田瑠華										
栗本珠路	森翠葉	森雪華	吉田美影	山田瑠華																

伊藤美泉	倉橋高堂	田中石雲	栗本珠路	藤田寒樹	松田樹幹	浅野搖草	岩崎翠風	山崎白扇	大西影慕	尾中杉得	吉田美影	山田瑠華								
倉橋華仙	戸松紅翠	大西影慕	尾中杉得	吉田美影	山田瑠華	浅野搖草	岩崎翠風	荒川白扇	尾中杉得	吉田美影	山田瑠華									
栗本珠路	戸松紅翠	尾中杉得	吉田美影	山田瑠華	山田瑠華	岩崎翠風	山崎白扇	大西影慕	尾中杉得	吉田美影	山田瑠華									
藤野春竹	牧野瑞葉	横井静嘉	渡辺湖風	吉田美影	山田瑠華	浅野搖草	岩崎翠風	荒川白扇	尾中杉得	吉田美影	山田瑠華									
原香風	宮代翠霄	森雪華	吉田美影	山田瑠華	山田瑠華	岩崎翠風	山崎白扇	大西影慕	吉田美影	山田瑠華										
栗本珠路	森翠葉	森雪華	吉田美影	山田瑠華	山田瑠華	岩崎翠風	山崎白扇	大西影慕	吉田美影	山田瑠華										



いちのみや市百周年記念展

▼期間 令和3年8月27日(金)～29日(日)
▼場所 iビル3階イベント広場
▼参加者 幼児・学生・一般

長年にわたり一宮書道界の悲願でありました筆塚が真清田神社境内服織神社の東側に完成し、竣工祭を迎える事となりました。今後は一宮書道界のシンボル的な存在となつて益々書道が皆様に慕われ発展することを願つてやみません。

筆塚竣工祭

▼日時 令和4年2月23日(祝)
▼場所 真清田神社境内



長年にわたり一宮書道界の悲願でありました筆塚が真清田神社境内服織神社の東側に完成し、竣工祭を迎える事となりました。今後は一宮書道界のシンボル的な存在となつて益々書道が皆様に慕われ発展することを願つてやみません。

今後は一宮書道界のシンボル的な存在となつて益々書道が皆様に慕われ発展することを願つてやみません。

